

# 記憶を描く



会場 直方谷尾美術館

〒822-0017 福岡県直方市殿町 10-35 TEL | 0949-22-0038

開館時間 9:30 ~ 17:30 (入館は17:00まで)

休館日 月曜日 (祝日の場合は開館)

入館料 一般 400 円 (240 円)、高大生 200 円 (120 円)

( ) 内は 20 名以上の団体料金。中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方 (介助者 1 名含む) は無料。

2023

7/1<sup>土</sup> — 9/3<sup>日</sup>

7月22日(土)、9月3日(日)は会場内での演奏会開催に伴い、通常の展示と異なる可能性がございます。



# 谷尾本展

# 「記憶」を描く画家 谷健太郎



《土壁の家》制作年不詳 直方谷尾美術館蔵



《イヌ(室内)》1994年 直方谷尾美術館蔵

谷健太郎 (1933 - 2016) は福岡生まれ。1936年から満州(現在の中国東北部)で育ち、1946年の夏に日本へ引き揚げました。本展でも取り上げる絵本、「1945 少年」と「続 1945 少年」はその際の記憶がもとになっています。日本へと帰国後、1961年に九州大学文学部を卒業。卒業後は夕刊フクニチを経て読売新聞記者となりました。記者となった後に知り合った画家立花重雄・是澤清一らとの交流をきっかけに画家の道を志し、1988年に読売新聞社を退職。退職後は洋画家(日洋展委員・日展会友)に転身し、福岡を中心に作家活動を続けました。

谷の作品は油絵具を塗り重ねた分厚いマチエールが特徴的ですが、色彩や捉えられた輪郭は柔らかく、どこか優しい雰囲気をもといます。「記憶」をもとにして描いた作品を多く遺しており、特に満州での経験を記した「1945 少年」とその続編である「続 1945 少年」は文・絵ともに谷自身が手掛けているため、当時の情勢からその中で生活する人々の暮らしぶりまでリアルに感じることができます。本展では絵本原画をはじめ、谷の「記憶」をもとに描かれている作品を中心に取り上げ、画家の人物像や一生に迫ります。



《運河のある町》制作年不詳 直方谷尾美術館蔵

## 展覧会関連イベント

### 絵本の読み聞かせ

予約・参加費不要

谷健太郎が手掛けた「1945 少年」の読み聞かせ会。展覧会会場で作品に囲まれながらお楽しみください。

出演：野口和夫(直方市立図書館 館長)

日付：2023年7月9日(日)、8月11日(金・祝)

時間：11:00 ~ 12:00

## 夏限定！子ども向けイベントも盛りだくさん！

### 美術館 HP

こちらからもご確認いただけます。

本展期間中は、美術館職員による簡単工作教室や、豆本づくり、ちょっとドキドキなナイトミュージアムなど、期間限定のイベントを開催いたします。各イベントの詳細情報は下記問合せ先、またはQRコードよりご確認ください。

### イベント情報問合せ先

0949-22-0038 (直方谷尾美術館)

問合せ対応時間 9:30 ~ 17:30 (月曜日を除く)



## 記憶を描く 谷健太郎展

### 直方谷尾美術館

〒822-0017 福岡県直方市殿町 10-35  
TEL | 0949-22-0038

主催 | 公益財団法人 直方文化青少年協会

後援 | 直方市、直方市教育委員会

協力 | 株式会社朋栄九州営業所

### アクセス情報

#### ■公共交通機関

JR 直方駅、平成筑豊鉄道直方駅、西鉄バス直方バス停より徒歩 10分

#### ■自家用車

九州自動車道鞍手 IC より 20分、北九州都市高速道路金剛出口より 17分 (駐車場 7台有)

